

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.101 2003. 2

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

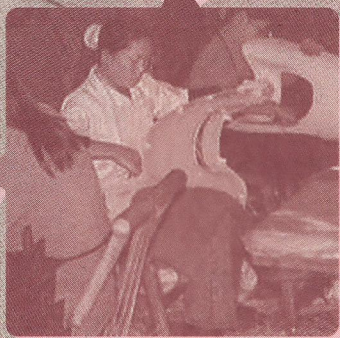
特集 中国のリサイクル事情



● リサイクル
デザイナー
P6



● 教えて
聞かせて
P3



● 大連

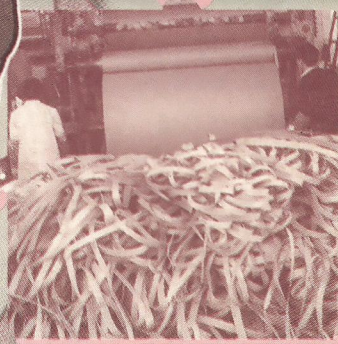
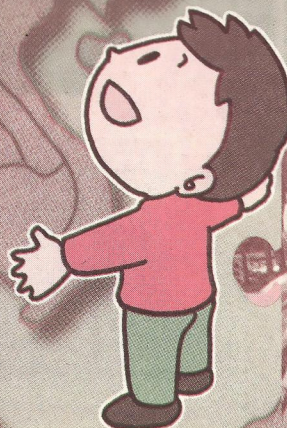
● 上海
● 杭州
● 富陽
● 台州

● 清遠
● 広州

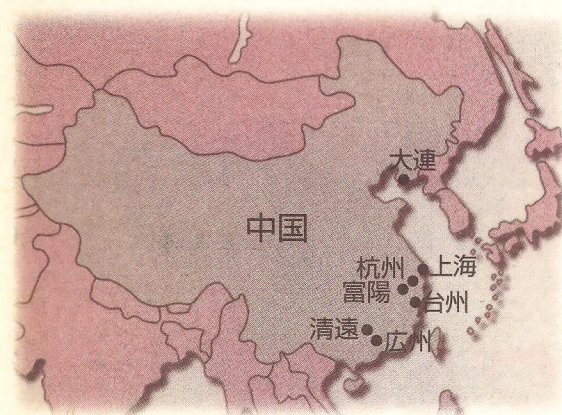


● エコ
クッキング・
本の紹介 P7

● サポーター
募集・
環境絵日記
P8



急成長の経済がもたらした環境問題の対策が始まる



近年、金属やプラスチックのくず、古紙などの再生資源の輸出が急激に増えています。1990年と2001年の輸出量を比べると、鉄くずが615万トンと15.5倍、古紙は146万6000トンと65.2倍に激増し、国内の古紙回収量の7.5%が輸出されていることになります。輸出先には、韓国、東南アジアなどありますが、中国が圧倒的に多く、鉄くずで輸出量の4割以上、古紙は5割近くを占めています。

そこで昨年11月、横浜市資源リサイクル事業協同組合は、自分たちが集めた資源物が、中国でどのようにリサイクルされているかを確かめに、中国各都市へ行ってきました。リサイクルデザイナーたちが見た、中国でのリサイクルの現状を報告いたします。

大連市

中国東北部の港湾都市大連では3カ所の工場を見学しました。製びん工場では、アメリカ製の溶解能力が1日160トンある製びん機を使っていました。リターナブルびんはビールびんのみようです。原料のカレットの使用率は40%、日本の約半分です。

次に行った敷地が1万坪位ある国営工場では、主に金属くずを扱っていましたが、プラスチック類の処理も行っていました。プラスチックを溶解・洗浄したあとは、フレーク状ではなくペレット状にして再生原料として出荷していました。3番目に行った製紙工場は、大連市の中心部より100kmほど離れた所にあり、

高層建築はなく従来の中国のつましやかな町並み三輪車、馬車の運搬風景など都市と比べて格差を感じましたが、人々の表情はとても明るいものでした。

大連駅では、朝6時から長蛇の列ができ、働くひとの「息吹き」を強烈に感じました。市内の建物は日本の都会と変わりません。しかし、電柱、電線は見当たらず、街路樹の多さと、清掃員による街の清潔さには目を見張るものがありました。一般市民の食事は、1食2元(30円)~9元(135円)で衣類などの日用品も低価格でした。

家庭単位の分別収集の対象は、新聞・雑誌等の古紙類とボロやビールびんな

どで、個々に業者に渡していて、行政主導型のリサイクリングは行われていないようです。



突然降り出した雪の中、倉庫群を見学

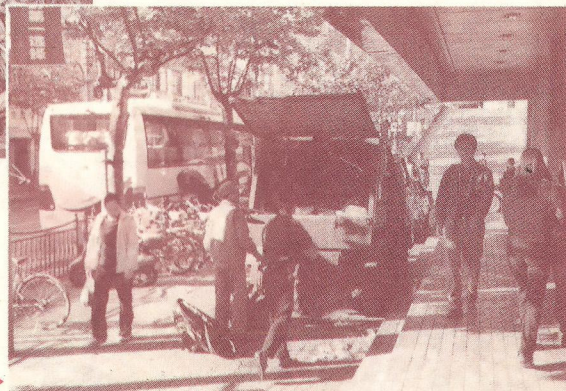
上海市

上海は中国を代表する長江地域の大都会です。上海の中心部から車で1時間程度の距離にある製紙工場では、段ボールの中芯を作っていました。年間2万トンを原料として仕入れています。経費節減のため昼間は製品の加工のみを行い、機械を動かして紙を漉くのは、日中の3分の1程度の料金の深夜電力を使っています。

中国では紙の生産力不足のため、いままで需要の3分の1を輸入に頼っていました。今は製品の輸入量を抑えて国内生産に切り替えているので、生産量は毎年20%の伸び率で成長しているそうです。



上海市の段ボール工場



上海市内回収風景

台州市

上海市から車で6時間の距離にある台州市の主な産業は漁業でしたが、現在では鉄・非鉄(アルミや銅など)の資源化が主流になっています。

2年前までは、道ばたや庭先で鉄スクラップの解体作業をおこなっていました。しかし解体くずから出てくるビニール被覆などを道端で野焼きしていたので、環境問題が起こり、いまでは国が指定した解体場で行っています。解体場は天蓋の設置、コンクリート床、排水設備などの整備が義務づけられ、台州市環境保護局から通達の「解体場管理規定」が掲示されていました。

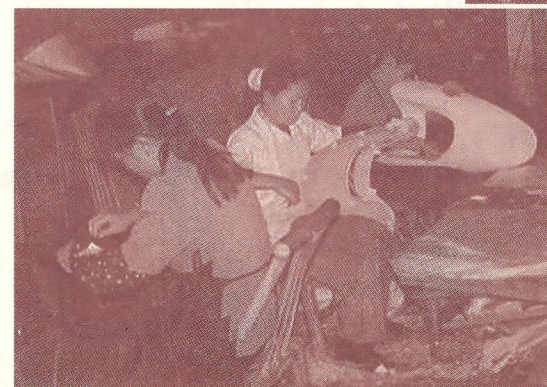
プラスチック再生工場では、廃プラスチックを混ぜ合わせ、品質の均一化を行ってからペレットにしていました。原料には輸入した廃プラスチック

だけではなく、鉄スクラップの解体場で発生したビニール被覆も使っています。

また隣にプラスチック押出成型工場があって、スクーターのカウリングを作っていました。



鉄スクラップの解体場



廃プラから作られたスクーターのカウリング



手作業でビニールと銅を分けている

広州市・清遠市・富陽市

広州は中国南部の現在飛躍的な経済成長を遂げている地域です。ここでもリサイクル施設からの環境汚染が問題になっていて、見学した金属リサイクルの工場も門を閉ざしていました。政府の指針では1万㎡以上の敷地に5千㎡以

上の建物を建てて処理を行うことになっており、あらたに3千万円以上の投資が必要になるといいます。

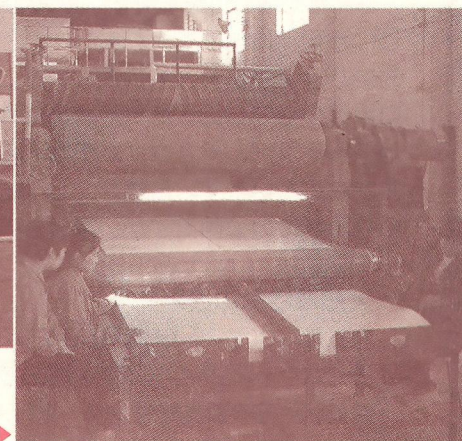
清遠市の工場でもすでに撤去命令が出たところがあり、モーターの手ばらし施設では、焼いたモーターを分解し

ていましたが、土間には油がしみ込んでいて、環境にはなにも配慮していないことが今回の命令に繋がったことが想像できました。作業をしている人たちの日当は1日10元(150円)でした。

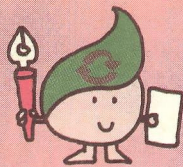
最後の日の予定が変更になり、急きょ昔から製紙業が盛んな地域で、大小500を超える製紙会社が集まり工業特区になっている富陽(フーヤン)市に出かけ、厚紙工場を見学しました。生産量は月間千トン、原料の古紙の内約350トンを輸入しており、輸入古紙の3分の1が日本からのものといわれています。市内には古紙の市場があり、毎朝競りに賭けられた古紙が、トラックごと製紙工場にはこばれていきます。



富陽古紙市場入口



富陽の厚紙工場で働く人々たち



教えて、聞かせて

自然が先生 楽しくおやこ観察会



近くの公園や雑木林をフィールドにして、大熊伸さんはおやこ自然観察会を開いています。

会の名はヨコハマ・マザーアースといいます。

私たちの住む星、母なる地球をヨコハマから見ていこうということでしょうか。

大熊さんは「自然が先生。誰もが自由に学びとることができる」といいます。

くりだし図鑑に「おおっ！」

大熊さんは季節ごとのテーマで、年に数回の観察会を、近隣の三ツ池公園や、東寺尾ふれあい樹林で開き、子どもも大人も共に楽しめるよう工夫しています。昨年の6月は“雲や風を知る”をテーマに、パラシュートをこしらえて、風を見ました。10月の“鳴く虫を知ろう”に、私も参加しました。夏の名残のような日差しの強い日、公園の林の中を歩きながら「まだツクツクハウシやミンミンゼミが鳴いているね。散歩でもそうなんだけど、ゆっくり歩かないと、いろんなものが見えてこないんだよ」と、大熊さんは話します。

草はらに座って、まずくりだし図鑑作り。1枚の紙に切り込みを入れて折り、テープで止めてから、そっと開くと、「おおっ！」という声が思わずあがりました。手品のように、ギリギリスやコオロギのページが組み合わさって、くりだされます。

鳴く虫の名前を知ったところで、別の草はらへ移動。次は虫捕り器作り。ペットボトルの上部を切り取り、やすりをかけて逆さに入れ込みます。ちいさな子どもには大人が手伝います。火をつけた線香で、ひもを通す穴をあけるとできあがり。さあ、この虫捕り器を使って花だんや草はらへ。たちまち「とれたよー。いっぱいいいー」、「オンババッタがいるー」と子どもたちは賑やか。

「しっかりおんぶしているかな。上にのっている小さいのがオスだよ。そのままにしておいてね。さわるとバラバラになっちゃうよ」と大熊さんは説明しました。「耳をすまして、エンマコオロギの鳴き声がするほうへ行ってごらん。そばへ行くと鳴きやんじゃうでしょ」。

みんなで捕った鳴く虫を、3つの虫かごに種類別に分けて入れました。圧倒的にバッタが多く、ギリギリス、コオロギは少しでした。三ツ池公園には、他にもトンボ、チョウ、ハチなどの虫もたくさんいます。自然が少ないといわれる都市の公園ですが、意外なこと

虫捕り器の つくり方



バッタをいっぱいかまえた

ペット
ボトルを
用意する

上部を
切る

逆さに
入れる

切り取った後、やすりをかける

線香

穴をあけ
ひもを
通す

に生物は豊富です。

「ハチはこちらが何かアクションを起こすと刺すんだよ」と大熊さん。捕まえた虫を放して、ゴミを拾って秋の観察会はおしまい。

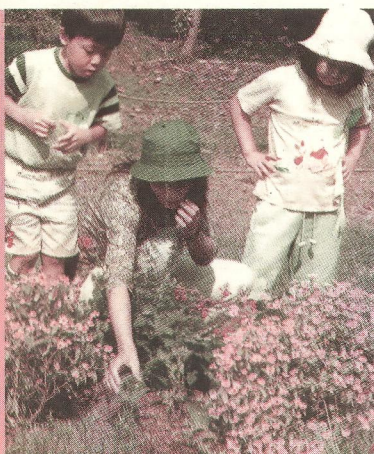
12月には木の実やつるを観察して、リース作り。3月は“土の中の生き物を知る”の予定。自然を子どもと共に楽しむ方法を学ぶにも、大熊さんの会はいい場だと思いました。大熊さんは、目の不自由な人とも観察会を開きたいと考えていて、黒点字版の資料を用意しています。専用のコピー機にかけると画や文字が盛り上がり、さわって読みとれるのだとか。

大熊伸さんの連絡先

TEL&FAX 045-584-8004

ヨコハマ・マザーアースのお知らせは、横浜市環境保全局発行の“環境伝言板”、鶴見区生涯学習支援センター発行の“あぶりお”に掲載

作ったばかりの虫捕り器で虫をゲット



横浜G30行動の スタートダッシュ!

横浜G30行動宣言～350万人の挑戦～

「横浜G30行動宣言～350万人の挑戦～」について

廃棄物による環境負荷を減らし、将来の子供たち、将来の横浜に、豊かで良質な地球環境を残していくために、横浜では中期政策プランで、平成22年度までに全市のごみ排出量を、平成13年度の排出量に対し30%削減する目標を掲げました。この目標の達成に向け、市民・事業者のみなさんに参加と協力をして頂き、ごみの減量・リサイクルに取り組んでいくため、「横浜G30行動宣言～350万人の挑戦～」を発表します。

横浜G30行動宣言 ～350万人の挑戦～

みんなで守ろう 豊かな地球 美しい自然
使い捨ての生活に ヒリョド 終止符を
みんなで創ろう 「環境行動都市」横浜
実践しよう ごみの削減とリサイクルを
350万横浜市民が ごみ減量に挑戦します

平成15年1月8日
横浜市長 中田 宏

また、「G30行動」の具体的な施策を盛り込んだ「一般廃棄物処理基本計画」を「横浜G30プラン」として改定するとともに、この宣言を計画の冒頭に掲げます。

この宣言は、広報よこはまや環境事業局ホームページに掲載するほか、さまざまな減量化・資源化のキャンペーンなどの広報・普及啓発に活用し、幅広く市民にお知らせしていきます。

「一般廃棄物処理基本計画」(横浜G30プラン)の改定について

(1) 改定の趣旨と経過

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムが、地球環境にさまざまな問題を引き起こす一方で、市民・事業者の環境意識も高まってきました。循環型社会形成推進基本法をはじめとする法体系の整備、また非「成長・拡大」の時代への移行など、社会経済状況の変化に対応し、焼却・埋立処分を中心とする廃棄物対策からの転換が急務となりました。

循環型社会を構築するため、横浜市廃棄物減量化・資源化等推進審議会の答申をふまえるとともに、市民の方々の意見をできるだけ取り入れながら、中期政策プランとの整合をはかり、平成5年に策定した一般廃棄物処理基本計画を改定しました。(次ページへ)

「G30」とは?

「G30」は「ジー・サンジュウ」と読みます。

「G」とは、「ごみ (Gomi)」という言葉をローマ字した場合の「G」、「ごみ」を意味する英語「Garbage」の「G」、ごみを減量していくという「減量 (Genryou)」の「G」、そして、次世代に良質な地球環境を引き継いでいくという意味での「Good」「Global Environment」の「G」などの思いを込めて、「G」と表記しています。

「30」とは、平成22年度におけるごみ排出量の削減目標である30%の「30」を表します。また、「G30」で「ゴミゼロ」の意を含めています。

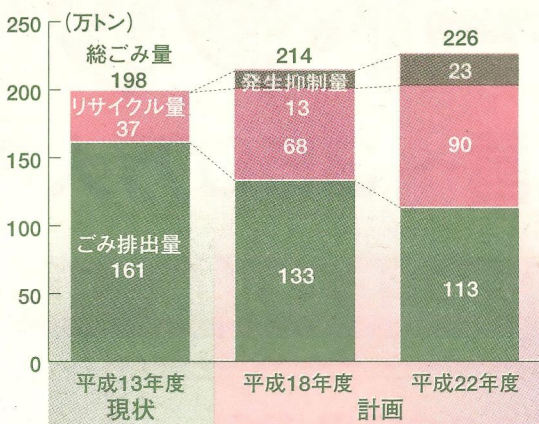
横浜G30行動の スタートダッシュ!

横浜G30行動宣言～350万人の挑戦～

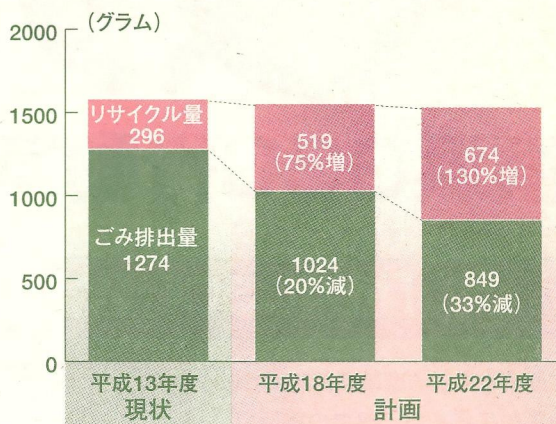
(2) 目標

計画期間を平成14年度～平成22年度とし、平成18年度には市民一人一日あたりのリサイクル量を75%増、ごみ排出量を20%削減、平成22年度にはごみ排出量を平成13年度に対し30%削減します。

●ごみ量の将来見通し



●市民1人1日あたりの目標



(3) 計画の特徴

●中期政策プランとの整合

「横浜G30行動宣言～350万人の挑戦～」を冒頭に掲げ、中期政策プランで示された数値目標や施策を軸に計画を策定しました。

●わかりやすい数値目標

市民一人ひとりが積極的にごみの削減とリサイクルに取り組めるよう、一人あたりのごみの削減目標・リサイクル目標をわかりやすく示しました。

●徹底的なごみの分別と資源化

分別収集品目を増やすなど、徹底したごみの分別や資源化のしくみをつくるとともに、「ごみの減量・3R推進運動※」を全市をあげて展開し、ごみの減量化・資源化に市民・事業者・行政が協働し、一体となって取り組みます。

●計画のローリング

社会経済状況の変化をふまえ、3～5年で計画の見直しを行います。

(4) 目標達成に向けた 5つの基本方針

- 市民・事業者・行政が情報を共有
- 市民・事業者・行政が協働し、ごみ減量化を推進
- 徹底的なごみの分別と資源化
- 環境に配慮したごみ処理の推進
- 環境にやさしい、きれいな、まちづくりの推進

※3R…廃棄物の発生抑制 (Reduce)、再使用 (Reuse)、再生利用 (Recycle)
の3つの英語の頭文字R

○リサイクル掲示板○

センターリサイクル

●2月2日 (日)

・泉区センターリサイクル
環境事業局泉事務所構内
時間：午前9:00～12:00
※雨天実施、車で搬入可
回収品目
新聞、雑誌、段ボール、紙バック、古着、古布、毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所
TEL 803-5191

●2月1日 (土)

・センターリサイクルinせや
瀬谷区 ニツ橋公園
時間：午前9:00～12:00
※雨天中止、車で搬入可
回収品目
新聞紙、雑誌、段ボール、紙バック、古着、古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所
TEL 364-0561

●2月9日 (日)

・かながわセンターリサイクル
神奈川区 反町公園
(神奈川区役所側)
時間：午前10:00～午後1:00
※雨天実施
回収品目
新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着、古布、白色トレー、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ
TEL 413-3196

●2月16日 (日)

・旭区センターリサイクル
環境事業局旭工場内
時間：午前9:00～12:00
※雨天実施
回収品目
新聞、雑誌、段ボール、紙バック、繊維類、リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所
TEL 953-4811



プロフィール
1962年(昭和37年)5月30日生まれ。
横浜市出身。愛媛出身の妻と10歳、6歳
の男の子の4人家族。小学3年から中学3
年まで地域の野球チームで活躍。高校か
らはハードロックに夢中。大学時代はラ
イブハウスで活動も。趣味はゴルフ、音
楽鑑賞。年に3~4回は来日したバンド
やB'zのコンサートに出かける。

「1つの時代が終わって、今、 リサイクルや環境を考えなくてははいけない 新しい時代に入ってきています」

広がっていかないリサイクル

先日、600人の中学生を前に、学校の
体育館でリサイクルについて講演をし
ました。座って聞いている子ども達を見
ながら、武松さんの頭の中を様々な思いが
よぎりました。「単発でいくら話しても、
聞く方はすぐ忘れてしまう。継続させな
くはいけない」「もっと普通の授業の中で、
リサイクルを学ぶことはできないのか」

リサイクルという言葉が、がぜん注目さ
れるようになったのは今から6~7年前、
武松さんが33~34歳の頃。1952年(昭
和27年)に父親が創業した資源回収業、
武松商事の社長に就任している時でした。
それから数年を経た今、リサイクルは私
たちの生活の中でどのような広がりを見
せているのでしょうか。残念ながら「リサイ
クルをしようという言葉だけが1人歩きを
している。リサイクルが本当に成立して
いるのなら、この業界の地位も、もう少し
上がっているはずだ」。確かに以前と
比べれば、リサイクルに関心を持つ人は
着実に増えてはいます。でも、少しずつ
広がっていたリサイクルの輪が、ある所に
来ると行き詰まってしまうのは否めません。
継続、実行の難しさと市民1人1人を巻き

込む難しさに突き当たるのです。「啓蒙
だけで終わっているような気がしますね。
『あっそうなの』で、後が続いていか
ないんです」市民全体のリサイクルに
対する意識を上げて、引き出すア
プローチの必要性を今、武松さんは
強く感じています。

リサイクル社会実現に向けて できることは

市民の意識をリサイクルに向けるために、
武松さんは2つのことを提案しています。
1つは、市が費用を提供しコミュニティー
や地域の中で、市民がビジネスとしてリ
サイクルに関わるやり方です。それが市
民環境ビジネスとして広がり、行き詰ま
った個々の輪をつないでいけば、市民の意
識もおのずと高まっていきます。もう1つ
は「認められること」。リサイクルに貢献
している個人や団体が「おっ、いいことや
ってるなって、世間に認められること。そ
の機会を増やすにはどうしたらいいか、
いつも考えますね」

業界がしなくてははいけないこともた
くさんあります。社会に対しての情報発信
もその1つです。生活に一番密着してい
るごみを通して、私たちの暮らしの移り
変わりを真っ先に感じ取れるのがこの業界

の人たちです。「情報発信によって、まだ
皆が目を向けていないことに目を向け
させることもできますよね」。また、リサイ
クル産業に携わっている人の長年培った
知恵を一般市民に伝えていくことも、大
切な役目だと考えています。アドバイザー
的なことは、すでに少しずつなされて
はいますが、より大きな規模で市民を巻
き込む形に発展させていくことは、意識
を高めるうえで、やはり必要なことです。

今、社会に求められていることは「ご
みが出た時点で、もうそれは資源だとい
うとらえ方をすることです。でないと、本
当のリサイクルにはなっていきませんよ」。

リサイクルを下から支えるこの業界に、
なかなか光があたらないことへのジレン
マを感じながら、リサイクル社会実現に向
けて発せられる武松さんの言葉には、ず
っしりと胸に迫る重みがありました。

びっくり その1

リサイクルボーイ
トイレトーパーは、
ごみが出ない芯なしロール。
しかも専用ホルダーで
なくふつうのホルダーで
使えます。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。
バージンパルプのティッシュより
お肌にやさしい! 愛用者の某リサイ
クルデザイナーの関係者いわく、「ティ
ッシュを使うと鼻の下がでわごわにな
るのに、このトイレトーパーだと
大丈夫なの」(実話です)。

トイレトーパーは再生紙があたりまえ。
だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレトーパー



★使ってびっくり

シングル芯なし130メートル1パック(6ロール)あたり価格420円

びっくり その2

手にするとずっしり重い。
それもそのはず、ふつうのトイレト
ーパー(シングルで60m)の2倍
以上の長さ(130m)です。「使っ
ても使ってもなくなるんですね」
との声も寄せられるほど(もちろん
いつかはなくなるけど)。

注文受付は1ケース(48コ入=6コ入りパック×8)より
1ケース 3,360円(配送料込み)

※消費税・振込料はお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得!

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045・316・4050 FAX 045・316・6050

お粥を作ろう!!

年末年始の慌しさが、やつとおちついた今頃、食べ過ぎ飲み過ぎのツケが回ってくるようです。胃腸の調子がイマイチだと、当然生活を快適に過ごすことができません。一日も早く、調子を整えて、一年の始まりを、心地よくスタートさせたいものです。

こんなとき、お薦めは、お粥です。しかし、お粥は時間がかかるので・・・と、最近では、あまり家で作るものではなくなったようです。残念!!

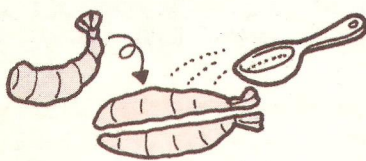
最近は、スローフード スローライフという言葉が、流行のようですが、いざ現実となると、この忙しい社会の中で、時間と戦っている人がほとんどかもしれません。でも、あきらめないで!!きつとどこかに、誰にでも、少しのスローライフのための時間があるはずですよ。要するに、求めれば見つかるものです。環境問題への取り組み、生活習慣の見直し、どんな状況にも、想いを持って行動し続けなければ、なかなか成果は得られませんが、

今更も、その想いの積み重ねに
励んでください。きつとすばらし
い一年になることでしよう。まず
は、お粥作りで体調を整えてくだ
さいね。

みかんの皮入りお粥

＜作り方＞

- (1) ムキエビは半身に切る
(背ワタに沿って切る)
片栗粉を軽くまぶす



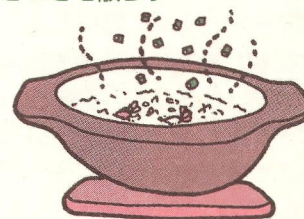
- (2) 鍋にごはんとだし汁とみかんの皮を入れ弱火で好みの硬さまで煮る(途中水が足りなければ足す)



- (3) 塩・コショウで味付けし、最後に(1)を加える。さっと煮て火を止める



- #### (4) あさつきを散らす



<材料>

のこりものごはん 2膳分
 だし汁 2と1/2カップ
 ムキエビ(塩・コショウ)
 片栗粉 適宜
 みかんの皮 乾燥させて少々
 塩・コショウ 少々
 しょうゆ 少々(好みで)
 あさつき(みじん切り) 少々

※日頃捨てているみかんの皮をよく洗って天日に干し乾燥させる。だし汁は昆布・かつお節・しいたけ等お好みでとったもの、またはコンソメキューブ1個

干しみかんの皮の効能

“薬膳料理では“^{ちんぴ}陳皮”といって健胃作用があるとされています”

おすすめ「本」の紹介



「地球を汚さない」シリーズ2
「捨てない主義で『布』生活」
八田尚子+自然食通信編集部編
¥1200 発行；自然食通信社

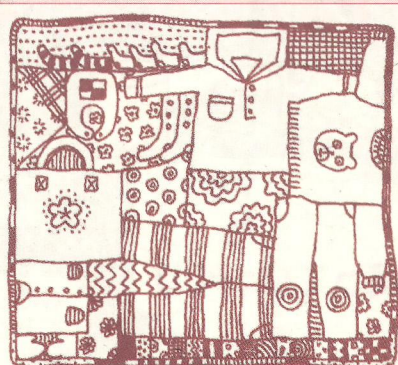
「捨てない主義で『布』生活」

本書まえがきの最後に「布再生術の実際アイデアを満載した実例集、暮らしと布とのいいお付き合いに焦点を当てたインタビュー、いろいろな角度からの布のリサイクルを考えるレポート。この三本が本書の大きな柱です。なかでも、わかりやすいイラストと、ともに六十余ページをさいてお届けする、実例集【ひらめき布再生術】はおすすめです。

お気に入りの古布で何かを作りたい、お父さんのシャツを子供服に作り替えたいというとき、ぜひ参考にしてください。やる気がわいてくる

こと、請け合います。いざ、手を動かしてみると、思うように仕上がったり仕上がらなかったり。手作りはその意外性が楽しいんです。| とあります。

目次の大項目は「布で遊ぶ」「布と暮らす」「とことん働く布たち」「よみがえる布のいのち」。わかりやすいイラストがすぐその気にさせてくれる、布の再生利用術がぎゅっしりつまっています。



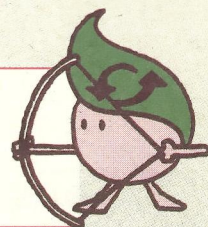
●横浜市資源リサイクル事業協同組合

(リサイクルデザイン発行母体)では、協力会員(通称リサイクルデザインサポーター)を募集しています。
とにかくリサイクルに興味がある方、環境教育や街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方など、どなたでも構いません(詳しくは参加資格をご覧ください)。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくり

について、皆さんと一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料でお送りいたします。

興味のある方は下記いずれかの方法で、お申し込み下さい。



受付随時

リサイクルデザインサポーター 協力会員募集!

●申込方法

お申込は、FAX・メール、またはお電話で、下記資料請求先へ 1.ご住所 2.お名前 3.電話番号 4.「リサイクルデザインサポーター申込希望」とご明記下さい。折り返し申込書をお送りいたします。

●資料請求先

横浜市資源リサイクル事業協同組合

電話 045-316-4050

FAX 045-316-6050

Eメールアドレス mail@recycledesign.or.jp

●参加資格・条件

- 1.横浜市内にお住まいの個人および団体(集団回収実施団体・市民団体など)の方
 - 2.私たちの活動をご理解、ご支援していただける方
 - 3.ご本人の入会意思と、正組合員の推薦
 - 4.脱退は原則自由です
 - 5.入会金や年会費はありません
- 参加決定ご本人の入会ご意思の確認と正組合員の推薦をもって理事会にて決定しご通知します。

環境絵日記

2002年第8回リサイクルデザインフォーラムの環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン誌上でご紹介していきます。



永田台小学校6年 小出彩恵
8月16日 木曜日 天気 はれ
最近、地球の温暖化が問題になっている。
この夏休みの間、とても暑くてわが家でエアコンをよくつけていた。エアコンをつける部屋の中はすずしくて気持ちがいい。でも室外機はすごい熱を出している。これも地球の温暖化の原因になっている。私も自分の部屋にいるときは、なるべくエアコンをつけないようにした。最初は暑いと思ったけど、慣れると何とかなる。
自分一人くらい気を付けても仕方がないと思った。でも暑さもあるけれど、一人一人の心がけが、日本や地球を守ることになると思う。春、夏、秋、冬それぞれの季節の美しさがある日本をいつまでも守るために、小さなことから始めたいと思った。

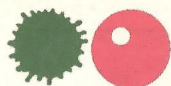


牛乳パックから生まれた紙ひも
山結くん
古紙をしばればまるごとリサイクル

1巻きの長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻250円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

山結くん販売場所 ●横浜市金沢区・緑区・中区・都筑区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックショップふれあい戸塚店(戸塚区ダイエー横) ●大船店(鎌倉市小袋谷) ●コミュニティストアすすきや(戸塚区) ●エコロジーショップエッセンス(中区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴見区生麦4-10-17)



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2002年12月現在
日経12/26

品名	買入価格 1キロ当たり	業者の売値 1キロ当たり
新聞	*** 0円	4~5.5円
雑誌	** 0円	1~1.5円
段ボール	** 0~4円	2円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料

*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格

★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION

いま中国では、2008年に北京市で開催されるオリンピックと、2010年の上海市で開催される万博に向けて、高速道路や高層ビルの建築が急ピッチで進んでいます。そして、産業の発展にもなっており、中国の資源の輸入量が急激に伸びています。

昨年一年間で、日本から中国に向けて輸出された再生資源（古紙・スクラップ・廃プラスチックなど）は、600万トン以上、古紙に關しては、昨年の日本の古紙の総輸出量約200万トン中、5割にあたる約100万トンが、中国へ向け輸出されたといわれています。そこで、次号は「古紙のリサイクル」を特集します。おたのしみに！

編集室から

「リサイクル教室」 出前講師を派遣します

リサイクル組合の組合員が、学校でリサイクルの話をする「出前講師」になったきっかけは、ある生徒さんがリサイクルデザインに載った、ある組合員の記事を読んで、「この人の話が聞きたい」と先生に希望したことから始まっています。

リサイクル組合では、地域や学校などのご要望に応じ、出前講師を派遣します。ご希望の方はぜひご相談ください。

問合せ TEL 045-316-4050

2002年 出前講師派遣状況

日時	学校名	対象
5/29	南区六ツ川小学校	4年生
6/13	緑区長津田小学校	4年生
9/26	旭区上白根小学校	4年生
11/13	戸塚区戸塚中学校	全校生徒
11/25	緑区緑園西小学校	5年生
12/4	南区共進中学校	全校生徒

リサイクルデザインのビデオテープ 「未来を生み出すリサイクル」



このビデオは、暮らしの中から出る資源物（古紙・空き缶等）がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等に活用ください。

●ビデオテープ貸し出し、ご購入の
お問い合わせは下記まで。

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-316-4050

FAX 045-316-6050

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル（鶴見カミン5F）●グリーンバザール（南区六ツ川）●ブックショップふれあい戸塚店（ダイエー横）●大船店●地酒 篠原屋（港北区篠原）●エコロジーショップエッセンス（中区麦町）●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店●安田火災海上保険横浜支店●東京ガス環境エネルギー館●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安●マイカル天王町サティ店●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店●自然彩食（名古屋）●まじょらむ（港北区綱島）●オーガニックスベースかれん（港北区大倉山）●カフェ社（港北区日吉）●さまま舎（緑区霧が丘）●うどんカフェ（青葉区こどもの国）●横浜国際ホテル（西区南幸）●さくら歯科クリニック（オーケー港北ニュータウン店2F）●リサイクルショップ「トロワの森」●横浜国立大学生協同組合大学館店・工学部店

月刊 リサイクルデザイン No.101

発行日：2003年1月25日

発行人：中野聡恭

編集人：宗村隆寛

編集室：戸川孝則・竹澤留美

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0005

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継
杉山宜利・芦澤博志

制作：(企)エコ・アド
印刷：オリジナルプランニング

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK（大豆インク）を使用しています。

